

「これから(沖縄県民を)犯す前に
犯しますよと言いますか」

更迭された
沖縄防衛局田中局長の暴言



野田首相、 それは政府の **本音** ではありませんか？

沖縄への米軍基地の 押しつけやめなさい！

沖縄防衛局の田中聡局長は11月28日、沖縄への新米軍基地建設のための環境影響評価「評価書」の年内提出を一川保夫防衛大臣が明言しないことに関し、「これから犯す前に犯しますよと言いますか」と述べました。この暴言に沖縄県民の怒りが爆発。田中氏は更迭されました。

■ 県民の意思を無視して力づくに

この発言には、政府がすすめる沖縄への新基地押しつけの犯罪性がはっきり示されています。沖縄県民は県民・自治体ぐるみで米軍普天間基地の撤去、県内移設反対を求めています。11月14日には、県議会が全会一致で新基地建設に反対し、環境影響評価書の断念を求めました。野田政権はアメリカの要求にこたえるために、この県民の総意を無視して、新基地を力づくで押しつけようとしているのです！



■ 防衛大臣の資格ありません！ 普天間基地は無条件撤去を

それを推進している一川防衛大臣は、1995年の米海兵隊員による少女暴行事件の「詳細」は知らないと答弁。大臣の資格がないことが露呈し、12月9日、参院で問責決議が採択されました。

野田首相は、即刻、防衛大臣を罷免すべきです。そして基地建設を断念し、普天間基地撤去を求めるべきです。

来年5月15日は沖縄の「本土復帰」40年。県民の願いは「基地のない平和な沖縄」です。沖縄県民とともに、基地のない憲法の輝く日本を実現しましょう！

あなたに防衛大臣の資格はありません！

辞任と、新基地建設、そのための環境影響「評価書」提出やめての声を届けましょう
〈送り先〉 一川保夫殿 防衛省
(代表)03-3268-3111 (FAX)03-5269-3270